

令和 年 月 日

横浜市 長  
横浜市水道事業管理者  
横浜市交通事業管理者

所在地

(請負人) 商号又は名称

代表者職氏名

押印は不要です

## 通知書

下記のとおり、建設業法第 20 条の 2 第 2 項に基づき、発生するおそれがあると認める工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象に関する情報を通知します。

### 記

契約番号	XXXXXXXXXX
工事名	〇〇〇〇〇〇工事

- 主要な資機材の供給の不足若しくは遅延又は資機材の価格の高騰  
(建設業法施行規則第 13 条の 14 第 2 項第 1 号)

発生するおそれのある事象<sup>\*</sup>: (例) 国際的な石炭価格上昇に伴うコンクリート価格の高騰

上記事象の状況の把握のため必要な情報の入手先: (例) 報道等の URL を記載又はファイルを別添

- 特定の建設工事の種類における労務の供給の不足又は価格の高騰  
(建設業法施行規則第 13 条の 14 第 2 項第 2 号)

発生するおそれのある事象<sup>\*</sup>: (例) 〇〇地震の復旧工事の本格化による交通誘導員の不足

上記事象の状況の把握のため必要な情報の入手先: (例) 報道等の URL を記載又はファイルを別添

※天災その他自然的又は人為的な事象により生じる発注者と請負人の双方の責めに帰することができないものを記載

その他連絡事項 (空欄可) (自由記述: 上記のほか工期等に影響を与えることが想定される情報等)

- (注) 1. 本通知書については、建設業法施行規則第13条の14第2項に規定する事象が発生するおそれがあると認めるときに提出するものであり、当該事象の発生するおそれが認められない場合は、提出を求めたものではない。
2. 本通知書を提出する場合は、落札決定通知を送付した日から14日以内に提出するものとする。
3. 「上記事象の状況の把握のため必要な情報の入手先」欄においては、通常の事業活動において把握でき、メディア記事、資材業者の記者発表あるいは公的主体や業界団体などにより作成・更新された一定の客観性を有する統計資料等に裏付けられた情報を用いること。  
(一の資材業者の口頭のみによる情報など、真偽を確認することが困難である情報は除かれることに留意すること。)
4. 本通知書により通知した事象が顕在化した場合は、建設業法第20条の2第3項により、請負契約の変更についての協議を発注者に対して申し出ることができるが、当該協議については、工事請負契約約款等に基づき対応を行うものであることに留意すること。
5. 本通知書を提出していない場合であっても、工事請負契約約款等に基づき、請負契約の変更について発注者に対して協議を申し出ることができる。